

ラトビア月報

【2020年3月】



2020年（令和2年）3月発行

在ラトビア日本国大使館

<http://www.lv.emb-japan.go.jp/>

主な内容

【政治】

- ・ラトビア政府、新型コロナウイルスで非常事態宣言を発出
- ・ラトビアは空路、陸路及び海路の国際定期便を一時運休（P. 1）

【経済】

- ・政府は丸紅への「Conexus Baltic Grid」の株式譲渡を承認（P. 2）

【外交】

- ・新型コロナウイルス流行対策：中国からマスクが到着（P. 4）

【その他】

- ・第12回ラトビア青年歌と踊りの祭典を1年延期（P. 6）

※「ラトビア月報」は、ラトビアにおける政治・経済状況等について、ラトビア政府発表や各種報道等の公開資料（原則として該当月の月末までの情報）を取りまとめたもので、在ラトビア日本大使館の見解を述べたものではありません。月別の時事情報として御参照いただければ幸いです。

— 政治 —

【今月の注目記事】

◆ラトビア政府、新型コロナウイルスで非常事態宣言を発出

3月12日、ラトビア国内における新型コロナウイルス（Covid-19）の感染拡大を防ぐため、カリンシュ首相及びビンキェレ保健大臣名で、4月14日まで国内全体が非常事態にあることを宣言した。教育施設の閉鎖、各種行事の中止、国外渡航の見合わせの推奨等の措置がとられることとなる。

◆ラトビアは空路、陸路及び海路の国際定期便を一時運休

3月14日に開催された新型コロナウイルスの感染予防に関する対策に関して協議した臨時閣議での決定に従い、3月17日から4月14日まで、ラトビアは空路、陸路及び海路の国際定期便を一時運休し、人の出入国も原則として禁止する。ただし、ラトビア人及び永住権を保持する外国人の入国、自国に帰国する外国人の出国、外交官や国際機関の職員の出入国等は例外的に認められる。

◆リガ市議会選挙の日程

3月13日、行政地方裁判所は、リガ市議会議員選挙の日程に関して「代替党」が提出した訴えを認め、当初4月25日に予定されていた投票を5月2日に延期するとの判断を下した。裁判所はまた、中央選挙管理委員会に対し、新しい日程を考慮し、リガ市議会に関する規則を修正するよう命じた。

他方、17日に行われた閣議で、新型コロナウイルス感染拡大を考慮し、6月6日まで延期すべきとの環境保護・地域開発省の提案が支持された。3月20日、国会は、リガ市議会解散法改正案を採決し、翌21日、レヴィッツ大統領はこれに署名した。これに伴い、リガ市議会解散総選挙は6月6日に実施されることとなった。

◆ネミロ経済大臣の辞任及びKPV LVによる後任候補指名

セキュリティ・クリアランスが取り消しとなった旨を報じられたネミロ経済大臣について、3月16日、KPV LVは会合を行い、後任候補にヤニス・ビテンベルグス・ラトビア国会国家経済・農業・環境及び地域政策委員会委員長を指名することを決めた。ネミロ大臣は大臣職を辞任し、議員活動は継続する。KPV LVは、連立与党から離脱する可能性も報じられていたが、与党内にとどまることを決定した。

◆ユタ・ストリーケ国会議員逝去

3月18日、国会法務委員会委員長を務めるユタ・ストリーケ議員が病気のため死去したと所属する新保守党のボルダース党首（法務大臣）が述べた。ストリーケ議員は、汚職防止摘発委員会で副長官を務めた後、リガ市議会議員を経て、2018年に国会議員に選出された。

◆新型コロナウイルス感染拡大対策：特別法の施行

3月20日、国会は、新型コロナウイルスの感染拡大によって生じる国家的危機及び影響を防ぎ、またそれらに対処するための方策に関する特別法を採決した。翌21日、レヴィッツ大統領が公布し、22日に施行された。内閣は、感染拡大の結果、最も影響を受けた産業を指定するほか、その他の産業に属する企業の中で、国の支援対象となるかを判断するための条件や手順を設定することもできる。支援内容には、納税期限の延期申請、収入補填(失業する等した人が、1か月700ユーロを上限に、過去半年の平均賃金の75%を受け取れる)、付加価値税還付を早期に行うための特別手続き設定(2020年4月1日から12月31日分)等がある。

同時に国会は、関連する法改正案4本についても採決し、いずれも施行された(出産及び疾病保険法改正による、従業員の新型コロナウイルスによる病気休暇取得の際の雇用者負担分緩和等)。

◆新型コロナウイルス流行対策：支援対象を全ての産業に閣議決定

3月26日、政府は、新型コロナウイルス流行によって影響を受け、特別法に基づき賃金補填等の支援対象となる産業を、一定の条件を満たす全ての分野とすることを閣議決定した。2日前の24日、運輸、ロジスティクス、観光等の一部分野を対象とすることが閣議決定されていたが、これが拡大された。国税庁によると、29日午後現在、中断期間の賃金補填については539社から3059人分の申請が提出されているが、これまでに認められたうち上限額の月700ユーロを支給されるのはわずか6人で、平均支給額は1人あたり301ユーロ/月となっている。また31日の閣議では、自営業者、ロイヤリティー受領者及び零細業者も支援対象とすることが了承された。

◆アルトゥス・カイミンシュ国会議員が新型コロナウイルスに感染

3月21日、アルトゥス・カイミンシュ国会議員が新型コロナウイルスに感染していたことが判明し、疾病予防・管理センターは同日、記者団に対し、全ての国会議員について同ウイルスへの感染有無を確認するための検査を行うと述べた。また、同議員と接触があった者は全て、14日間自らを隔離し、保健機関の指示に従う。内閣は、面会形式の会議を行わず、遠隔で仕事を続ける。

— 経済 —

【今月の注目記事】

◆政府は丸紅への「Conexus Baltic Grid」の株式譲渡を承認

3月10日、政府は「Marguerite Gas I S. a. r. l.」社の保有する「Conexus Baltic Grid」社(ラトビアの天然ガスの貯蔵・運搬を担う会社)の29.06%の株式を日本の丸紅社の

子会社である「MM Capital Infrastructure Fund 1」社に譲渡することを承認した。
同承認は国家安全保障法に「Conexus Baltic Grid」社の株式売買にはラトビア政府の承認が必要と定められているため行われた。

◆2019年の平均月給は1,076ユーロ

3月2日、中央統計局は、2019年の平均月給（グロス）は前年比7.2%（72ユーロ）増の1,076ユーロとなったと発表した。業種別では、金融・保険部門が2,083ユーロと最も高く、情報・通信部門（1,731ユーロ）、電気・ガス・空調部門（1,366ユーロ）などが続いている。一方、宿泊・食品サービス部門（767ユーロ）や教育部門（866ユーロ）などは平均を下回っていた。なお、手取りの平均月給（ネット）は前年比6.8%増の793ユーロとなった。

2019年第4四半期の平均月給（グロス）は前年同期比6.9%増の1,114ユーロ、手取りの平均月給（ネット）は対前年同期比6.5%増加の818ユーロとなった。

◆2020年2月末の失業率は6.3%

3月9日、国家雇用庁は、2020年2月末の失業率は前月末比0.1%減の6.3%になったと発表した。地域別では、リガ地方が4.3%（変化なし）で最低となり、ビゼメ地方が6.0%（変化なし）、ゼムガレ地方が6.5%（変化なし）、クルゼメ地方が7.3%（0.1%減）、ラトガレ地方が13.9%（変化なし）で最大となった。また、同庁に登録された失業者は58,247人（585人減）となった（括弧内は2020年1月末比）。

◆2020年2月の消費者物価上昇率は2.3%

3月9日、中央統計局は、2020年2月の消費者物価上昇率が対前年同月比2.3%（対前月比では0.1%増）であったと発表した（財価格は1.9%上昇、サービス価格は3.1%上昇）。部門別では、食品（対前年同月比4.4%上昇）、レストラン・宿泊施設（同3.5%上昇）、医療・保健サービス（同3.4%上昇）などで物価の上昇が見られた一方で、教育関連部門（-0.5%）では物価が下落した。

◆2019年第4四半期の平均時間給は前年同期比7.7%増

3月17日、ラトビア中央統計局によると、2019年第4四半期の平均時間給は非季節調整値で前年同期比7.7%増（季節調整値は7.5%増）の9.76ユーロになったと発表した。全部門において平均時間給は上昇し、特に、建設業（15.3%増）や医療・保健部門（15.2%増）の給与上昇率が大きかった。業種別の平均時間給は金融・保険（17.94ユーロ）及び情報・通信（15.93ユーロ）が最も高い。上昇の背景には、通常の給与だけでなく、賞与や雇用者が任意で加入する健康保険、年金及び生命保険の拡充や勤務時間短縮等がある。

◆リガ空港は投資計画を一時中止

3月23日、リガ空港は新型コロナウイルスを原因とする非常事態宣言により、航空交通は事実上停止したため、投資計画を一時中止する。また、予算削減のため投資を85%、運営費用を60%、職員費用を40%削減する。

◆ラトビア鉄道は電化計画を一時中止

3月23日、鉄道による貨物輸送量の減少が継続していることを理由に、ラトビア鉄道は電化計画（総額4億4100万ユーロ、EU基金を活用）を一時中止すると発表した。2019年上半年より貨物輸送量が減少しており、2020年、同社は国の補助金なしでは採算がとれないことを理由にあげている。

◆ラトビア国庫はユーロ債により5億5000万ユーロを調達

3月26日、レイルス財務大臣は「本日、ユーロ債を発行して5億5000万ユーロを調達した」と述べた。また、同大臣は、「Nordic Investment Bank」とビジネス支援のための5億ユーロ分に関して合意に達し、欧州評議会の開発銀行と2億ユーロの支援に関しても協議中であると述べた。

— 外交 —

【今月の注目記事】

◆新型コロナウイルス流行対策：中国からマスクが到着

3月29日、中国でフェイスマスク90万個及びレスピレーターマスク8万個を載せたエア・バルティックの特別機がリガに到着した。同月28日にリガを出発した特別機は、ウルムチ地窩堡国際空港で計5.1トンの貨物を積み込み、翌日リガに帰還した。ラトビア国立保健局の要請を受けて運航したエア・バルティック社がツイッターで発表した。

◆ムールニエツェ国会議長の米国訪問

2月29日～3月6日、ムールニエツェ国会議長は、エストニア、リトアニア及びポーランドの国会代表団とともに米国を訪問した。3月3日に会談したペローシ米下院議長は、4か国の合同訪問は地域の安全保障に対してともにコミットメントしている証だと述べた。一行は、上院外交委員会、下院バルチック・コーカスの代表等とも面会した。

◆カナダ外務大臣のラトビア来訪

シャンパーニュ・カナダ外務大臣がラトビアを実務訪問し、3月2日にカリンシュ首相及びリンケービッチ外務大臣と、また同月3日にレヴィッツ大統領及びパブリクス国防大臣と会談し、良好な二国間関係を確認したほか、NATO・ウクライナ関係やEU・ウクライナ関係における協力等について意見交換した。シャンパーニュ外務大臣は、NATO

の強化された前方プレゼンスの一環でラトビアに駐留するカナダ軍兵士と面会するため、キャンプ・アダージも訪問した。

◆リンケービッチ外務大臣の北マケドニア及びアルバニア訪問

3月3日～5日、リンケービッチ外務大臣は、チャプトヴィチ・ポーランド外務大臣、リンケビチユス・リトアニア外務大臣及びボルマー・エストニア外務次官（欧州問題担当）とともにアルバニア及び北マケドニアを訪問し、両国のEU加盟交渉開始に向けた支持を示した。北マケドニアでは、ペンダロフスキ大統領、スパソフスキ首相及びディミトロフ外務大臣等と会談した。アルバニアでは、メタ大統領、ラマ首相兼欧州・外務大臣、カカジ欧州・外務大臣代理、国会外交政策委員会及び欧州統合委員会の委員等と面会する等した。

◆リンケービッチ外務大臣のクロアチア訪問

3月5日～6日、リンケービッチ外務大臣はクロアチアを訪問し、EU非公式外務大臣会合及びEU外務理事会緊急会合に出席した。前者では、EU関係、ロシア関連政策、EU・トルコ間関係等について意見が交わされた。後者は、ギリシャの要請で招集されたもので、シリアのイドリブ及びトルコと接するEU対外国境地域における治安状況についての協議が行われた。

◆リンケービッチ外務大臣のリトアニア訪問

3月10日～11日、リンケービッチ外務大臣はリトアニアを訪問し、ブカレスト9のメンバー国（ラトビア、リトアニア、エストニア、ブルガリア、チェコ、ポーランド、ルーマニア及びハンガリー）との外務大臣会合に出席した。10日に行われた会合では、欧州・大西洋地域の安全保障情勢、ロシアによる脅威に対するNATOの政策等について意見交換した。今回は、米国からリーカー外務次官補代理及びNATOからターナー事務総長補（防衛政策及び計画担当）も出席した。なお、11日には、B9外務大臣等とともにリトアニアの独立回復30周年記念式典に臨んだ。

◆モンテネグロ大統領のラトビア来訪

3月11日、レヴィッツ大統領は、ジュカノヴィッチ・モンテネグロ大統領と首脳会談を行い、二国間関係、モンテネグロのEU加盟交渉等について意見交換した。ジュカノヴィッチ大統領にとって、今回は初のラトビア公式訪問であり、リトアニア及びエストニアに次いで訪れた。

◆新型コロナウイルス感染拡大対応：バルト三国首脳テレビ会議、北欧・バルト諸国外務大臣テレビ会議、バルト諸国・独外務大臣テレビ会議

3月16日、レヴィッツ大統領は、エストニアのカリュライド大統領及びリトアニア

のナウセーダ大統領とテレビ会議を実施し、新型コロナウイルスの感染拡大を食い止めるための取り組みについて最新の情報を共有する等した。また同日、リンケービッチ外務大臣は、北欧・バルト諸国の外務大臣等とのテレビ会議に出席し、会議後、共同声明が発表された。さらに、リンケービッチ外務大臣は翌17日、バルト諸国及び独の外務大臣によるテレビ会議において、新型コロナウイルスの感染拡大への対策に加え、シリア及びトルコの状況等について意見交換を行った。

◆ラトビア・ドイツ首脳テレビ会談

3月19日、レヴィッツ大統領は、ドイツのシュタインマイヤー大統領とテレビ会談を行い、新型コロナウイルスの感染拡大に関する最新の取り組みについて意見を交換した。レヴィッツ大統領は、ラトビア人の帰国に向けた支援に対しシュタインマイヤー大統領に感謝の意を伝えたほか、両大統領は、物資の流れの遅れを招いているポーランド国境における制約について議論した。

◆ラトビア・ベラルーシ首脳電話会談

3月24日、レヴィッツ大統領は、ベラルーシのルカシェンコ大統領と電話会談を行い、両国が良好な関係にあることを確認し、現在の二国間及び世界の課題について意見交換を行った。また、新型コロナウイルスの感染拡大によって様々な制約が生じていることから、4月に予定されていたルカシェンコ大統領のラトビア訪問を可能な限り早い時期まで延期し、具体的な日程は追って調整することを決定した。

— その他 —

【今月の注目記事】

◆第12回ラトビア青年歌と踊りの祭典を1年延期

3月31日、シュプリンツカ教育科学大臣は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2020年7月6日～12日に開催予定であった第12回ラトビア青年歌と踊りの祭典を、2021年まで延期することを決定したと発表した。同祭典は、1960年に始まり、近年は5年に一度開催されてきた。

◆ラトビアの新型コロナウイルス感染者に関する状況

3月2日、ビンキエレ保健大臣は、ラトビアで初の新型コロナウイルス感染者が確認されたと発表した。同患者はラトビア人の女性で、北部イタリアを訪問後、ミュンヘンまで車で移動し、2月29日、エア・バルティック社の飛行機によりリガに到着した。同患者は感染症センターにおいて隔離治療され、3月3日、検査結果が陰性だったため退院した。

3月8日、ビンキエレ保健大臣はラトビアで2人目の新型コロナウイルス感染者が確

認されたと発表した。同患者はラトビア人の女性で、グループで2月29日から3月7日までイタリア北部を訪問し、7日、ミラノからエア・バルティック社の飛行機によりリガに到着した。さらに9日、ラトビアで3人目の新型コロナウイルス感染者が確認され、同患者は8日に新型コロナウイルスの感染が確認された患者の家族であった。

その後も感染者数は増加し、3月31日時点での保健省のHPに掲載されたラトビア疾病防止・管理センターのデータによると、ラトビア国内で確認された感染者数は446人（全検査者数15,810人、死亡者0人）となった。

◆国連の世界幸福度ランキングによると、ラトビアの幸福度は第57位

3月20日、国連の「幸福度ランキング (World Happiness Report)」によると、ラトビアは156か国中第57位となった。これは、一人当たりのGDP、社会的支援、寿命、人生における選択の自由度、寛容度及び汚職度等を基に算出している。

リトアニアは第41位、エストニアは第51位、日本は第62位となり、上位3位は上から順にフィンランド、デンマーク、スイス、下位3位は下から順にアフガニスタン、南スーダン、ジンバブエとなった。

◆99%の企業及び85.4%の家庭はインターネットを利用

3月20日、中央統計局によると、2019年、ラトビア国内の99%の企業及び85.4%の家庭はインターネットの利用が可能である。都市部及び農村部では、それぞれ87.6%及び80.2%の家庭がインターネットの利用が可能である。地域別では、リガ地方の家庭が89.8%と最も高く、ラトガレ地方の家庭が77.8%となり最も低くなった。

2019年、ラトビア国内の61.3%の企業が在宅勤務を認めており、情報・通信部門では75.3%の企業が在宅勤務を認めている。

◆水素トロリーバスの運行開始

3月24日、リガ交通関係者は第4トロリーバスのルートで水素トロリーバスの運行を開始した。同トロリーバスは10分で水素を満タンに注入することができ、150キロ走行することが可能である。現在、同社は10両のトロリーバスを所有している。

◆政府はムイジュニエクス・ラトビア大学学長の留任を承認

3月27日、政府は遠隔閣議において、ムイジュニエクス・ラトビア大学学長の留任を承認した。2019年6月、ラトビア大学は同氏の留任を決定したが、シュプリンツカ教育科学大臣が同氏の留任に反対したため、政府は同氏の留任を認めない政令を採択した。その後、行政地区裁判所は、政府が同氏の留任を認めないのは違憲であるとの判決を下していた。

2020年3月の主な出来事

	【内政】	【外交】
3月	<p>12日, 非常事態宣言の発出</p> <p>14日, 空路, 陸路, 海路の国際旅客定期便の運休を発表</p> <p>20日, 国会がリガ市議会解散法改正案を採択, 市議会選を6月6日へ延期決定</p> <p>22日, 新型コロナウイルス感染症拡大による影響緩和のための特別法の施行</p>	<p>2月29日～3月6日, ムールニエツェ国会議長米 国訪問</p> <p>3日～5日, リンケービッチ外務大臣北マケド ニア及びアルバニア訪問</p> <p>5日～6日, リンケービッチ外務大臣EU外相非 公式会合出席(クロアチア)</p> <p>6日, シャンパーニュ・加外務大臣来訪</p> <p>10日, リンケービッチ外務大臣「ブカレスト9」外 務大臣会合出席(リトアニア)</p> <p>10日～11日, リンケービッチ外務大臣リトア ニア訪問</p> <p>11日, ジュカノヴィッチ・モンテネグロ大統領来 訪</p> <p>16日, レヴィッツ大統領, エストニア大統領及び リトアニア大統領とバルト三国首脳テレビ会議 出席</p> <p>16日, リンケービッチ外務大臣, 北欧・バルト諸 国外務大臣テレビ会議出席</p> <p>17日, リンケービッチ外務大臣, 独・バルト諸国 外務大臣テレビ会議出席</p> <p>19日, レヴィッツ大統領, 独大統領とテレビ会 談出席</p> <p>23日, リンケービッチ外務大臣EU外務理事会 ビデオ会議出席</p> <p>24日, リンケービッチ外務大臣EU総務理事会 ビデオ会議出席</p> <p>24日, レヴィッツ大統領, ベラルーシ大統領と 電話会談</p>

ラトビア主要経済指標

GDP

	単位	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2019 Q1	2019 Q2	2019 Q3	2019 Q4	出典
名目GDP	百万ユーロ	22,803	23,654	24,426	25,073	26,798	29,056	30,476	7,540	7,608	7,656	7,666	中央統計局
国民一人当たりGDP	ユーロ	11,329	11,861	12,353	12,796	13,805	15,084	15,928	-	-	-	-	中央統計局
国民一人当たりGDP/EU平均	%	63	63	65	65	67	69	-	-	-	-	-	EU統計局
実質個人消費/EU平均	%	64	65	66	66	67	69	-	-	-	-	-	EU統計局
GDP実質成長率(※)	%	2.3	1.9	3.3	1.8	3.8	4.3	2.2	-1.9	2.9	2.3	0.5	中央統計局

(※) 四半期は年率

財政収支、政府債務残高

	単位	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2019 Q1	2019 Q2	2019 Q3	2019 Q4	出典
財政収支	百万ユーロ	▲ 267	▲ 341	▲ 331	16	▲ 140	▲ 214	-	134	290	85	-	中央統計局
財政収支対GDP比	%	▲ 1.2	▲ 1.4	▲ 1.4	0.1	▲ 0.5	▲ 0.7	-	-	-	-	-	中央統計局
政府債務残高	百万ユーロ	8,984	9,669	8,953	10,092	10,807	10,608	-	11,151	10,993	11,031	-	中央統計局
政府債務対GDP比	%	39.4	40.9	36.7	40.3	38.6	36.4	-	-	-	-	-	中央統計局

失業率、消費者物価上昇率、月額平均賃金

	単位	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2019 Q1	2019 Q2	2019 Q3	2019 Q4	出典
失業率(15-74歳)	%	11.9	10.8	9.9	9.6	8.7	7.4	6.3	6.9	6.4	6.0	6.0	中央統計局
消費者物価上昇率	%	0.0	0.6	0.2	0.1	2.9	2.5	2.8	2.9	3.2	2.9	2.2	中央統計局
平均賃金(グロス)	ユーロ	716	765	818	859	926	1,004	1,076	1,032	1,075	1,083	1,114	中央統計局
平均賃金(ネット)	ユーロ	516	560	603	631	676	742	793	764	793	796	818	中央統計局
最低賃金(月額、グロス)	ユーロ	285	320	360	370	380	430	430	430	430	430	430	中央統計局
世帯一人あたり可処分所得	ユーロ	354	387	417	437	489	546	-	-	-	-	-	中央統計局

海外直接投資(FDI)

	単位	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2019 Q1	2019 Q2	2019 Q3	2019 Q4	出典
海外直接投資残高	百万ユーロ	11,532	12,453	13,529	13,582	14,628	15,202	15,976	15,359	15,274	15,711	15,976	中央銀行

貿易統計

	単位	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2019 Q1	2019 Q2	2019 Q3	2019 Q4	出典
輸出(FOB)	百万ユーロ	10,021	10,386	10,505	10,490	11,647	12,773	12,798	3,064	3,121	3,254	3,363	中央統計局
輸入(CIF)	百万ユーロ	12,635	12,909	12,710	12,417	14,177	15,793	15,726	3,661	4,015	4,066	4,028	中央統計局
貿易収支	百万ユーロ	▲ 2,614	▲ 2,523	▲ 2,205	▲ 1,927	▲ 2,530	▲ 3,020	▲ 2,928	▲ 597	▲ 894	▲ 812	▲ 665	中央統計局

日・ラトビア貿易(ラトビア政府統計)

	単位	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2019 Q1	2019 Q2	2019 Q3	2019 Q4	出典
日本への輸出	千ユーロ	44,091	32,989	39,592	48,524	50,526	53,343	54,896	13,647	14,020	12,586	14,643	中央統計局
日本からの輸入	千ユーロ	12,044	13,418	20,405	18,974	22,282	25,668	28,016	5,676	6,075	11,528	4,736	中央統計局
対日貿易収支	千ユーロ	32,047	19,571	19,187	29,550	28,244	27,675	26,880	7,971	7,945	1,058	9,907	中央統計局

日・ラトビア貿易(日本政府統計)

	単位	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2019 Q1	2019 Q2	2019 Q3	2019 Q4	出典
ラトビアへの輸出	百万円	5,054	5,240	6,386	5,523	7,573	7,325	5,794	1,433	1,897	1,454	1,009	財務省統計
ラトビアからの輸入	百万円	6,658	6,235	7,217	9,291	8,017	8,847	8,868	2,149	2,284	2,480	1,955	財務省統計
対ラトビア貿易収支	百万円	▲ 1,604	▲ 995	▲ 831	▲ 3,768	▲ 444	▲ 1,522	▲ 3,074	▲ 716	▲ 387	▲ 1,026	▲ 946	財務省統計

両国間の訪問者数

	単位	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2019 Q1	2019 Q2	2019 Q3	2019 Q4	出典
ラトビア→日本	人	1,059	1,400	1,803	2,484	2,487	2,551	-	595(暫定)	848(暫定)	547(暫定)	711(暫定)	日本政府観光局
日本→ラトビア(宿泊統計)	人	8,988	15,606	21,575	23,191	24,576	29,534	20,416	2,820	7,263	6,136	4,197	中央統計局

(注) ラトビアは2014年1月1日ユーロを導入した。2020年3月末現在、1ユーロ=120円程度。

(2020年4月20日まで公表分のデータ)